広報
さめがわ
昭和55年
7月号
No. 319
編集兼発行
鮫川村役場
協町佐藤印刷所



松平知事さんを
保育所の子供さんたちが大歓迎！

本村石井草部落から古殿町大作に通じる幹線林道が、福島県の代行事業で、3億2,617万円の国県費と5年の歳月を費して立派に完成しました。

これを記念する開通式と祝賀会が、鮫川村と古殿町の主催で6月25日盛大に挙行されました。

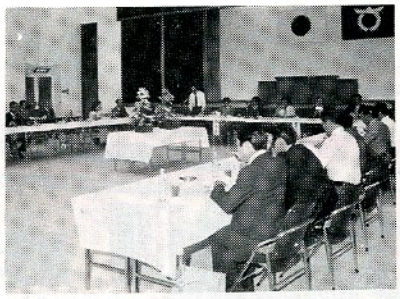
この日松平知事さんは午前9時県庁を出発され、古殿町鎌田を経て349号線国道を上って本村にお出になりましたが、石井草の現地に向われる途中、鮫川保育所の子供さん90名が日の丸の小旗を手に歓迎しているのに目をとめられ、車を降りて子供たちと握手を交わされ、やさしいお言葉を頂きました。

- ⦿ 7月1日～12月31日　行政区単位交通事故防止コンクール
- ⦿ 21日　行政相談会　心配ごと相談　開発センター
- ⦿ 7月21日～8月20日　夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

今月の人口
（7月1日現在）

人口	5,675	(＋5)
男	2,831	(＋2)
女	2,844	(＋3)
世帯	1,151	(　0)





全国山村振興連盟の東北北海道ブロック会議は6月5日6日と本県を会場に開催されましたが、6日はわが村の現地視察で阿武隈山系開発事業の実績を検討されました。

上は青生野集団桑園から展望する一行、下は山村開発センターで石田村長の総括説明をきく出席者の皆さんで、正面には国土庁山村豪雪地帯振興課長慶田拓二さん、農林水産省就業改善課長鈴木一郎さん、東北農政局構造改善課長高橋慶三さん、その他係長さん方、左側上席に全国山村振興連盟事務局長玉木康雄さんが着席して居られます。

花火の正しいあそび方

夏休みも間近くなりました。花火による火災や事故のないようにしましょう。

◎花火に書いてあるあそび方をよく守ること。

◎人や家に向けないこと。

◎燃えやすい物のある所であそばないこと。

◎風の強い時はやめること。

◎大人といっしょにあそぶこと。

◎水を用意すること。

◎火が消えても筒の中をのぞかないこと。

◎一度にたくさん花火に火をつけないこと。

◎ほぐしてあそばないこと。

棚倉消防署鮫川分署

村長の歩み(15)

林道石井草大作線開通す

村長　石田卯子八

阿武隈山系開発運動の事実上の旗上げは、昭和四〇年九月古殿町を含む東白川郡五町村の町村長と議会議員一同が青生野小学校へき地集会室に会合して、阿武隈山系開発期成同盟会を結成したときに始まるといえるように思います。

その時の提案事項の一つに阿武隈山系縦貫道路建設の案がありました。

これは南の基点を矢祭町の大垬として山系の高標高地帯を北上し塙町の片貝、那倉を経て鮫川村の青生野に入り、赤坂東野・石井草から古殿町の大作に至るという構想になっていました。

しかしこの案はあまりに大規模に過ぎるということで、国県の補助制度に該当する種目がなく、実施不可能とされました。

それで各町村はそれぞれ現地の実情に応じて、町村道、林道、農道などの規模に該当させて、小間切れでも着工することにしたのであります。

わが村では先づ遠ケ竜石井草間を林道で開きました。次いで大石草戸草間を林道で、戸草姿平間には農道開設事業を入れ、姿平、世々麦、大犬平間は林道で改修しました。

蒲谷地呼石間は営林署との併用林道になっていたので、併用を廃し林道改良事業を行いました。

矢祭町は林道で、塙町は農道で古殿町は林道でそれぞれ開設を進めたのであります。

しかし石井草、大作間は峰越えになり延長も長く、特に急峻の山容に阻まれ、両町村の行、財政力だけでは容易に着手できないでいたわけであります。

それが昭和五〇年三月一九日当時の森林土木課長花見猛志氏に現地踏査をお願いしたことに端を発し、急遽県の過疎代行事業としてこの大事業が県営で実施されることになったのであります。

それから五年の歳月と、三億二千六百余万円の国県費を要して林道石井草大作線は全線開通しました。

六月二五日の開通式には松平知事さんが、同日行われた山王バイパスの開通式には出納長を派遣されて、自ら当地にお出頂いたことも感激でした。

この路線は両町村を結ぶ産業道路としてその機能を画期的に増大することは勿論ですが、両町村交流の生活道路としてその利用度は数倍化されます。

沿線の林業的開発振興とともに経済文化の興隆に重要な役割を果してくれることを期待するものであります。

固定資産税　第二期
国民健康保険税　第二期
国民年金保険料　第二期
納期限7月25日

おめでた

五月

酒垂　白坂　忠幸　父白坂久幸
滝　須藤美由紀　父須藤美喜男

六月

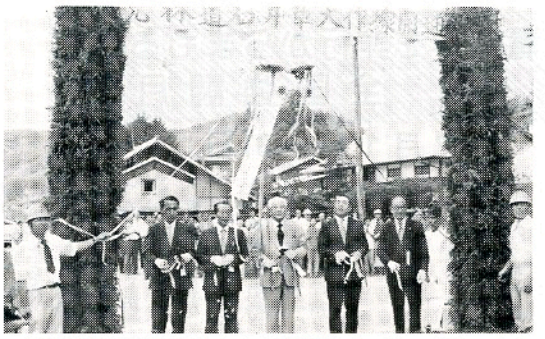
青生野　菅野　巧美　父菅野甲子夫
荻ノ沢　関根　巨樹　父関根政雄
彦次郎　杣田　望　父杣田之彦
落合　我妻　孝次　父我妻邦夫
沢尻　松崎　豊　父松崎繁男
江竜田　芳賀　巴　父芳賀精治

おくやみ

六月

年齢　世帯主
中沢　円谷　シゲ60歳円谷鶴男
関下　松本　均78歳松本幸典

河川愛護月間　7月1日～31日



石井草の現地で行われた林道開通式。テープカットする中央が松平知事、向って右に小沢林野庁林道課長、石田村長。左に岡部古殿町長、江上前橋営林局長。



鮫川古殿の町村界に、松平知事の揮毫による開通記念碑が建てられ、この日部落の幼稚園児２人によって除幕の行事が行われました。



この林道は峰越えの難工事でもあり、規模も大きいため福島県の過疎代行事業で行われました。両町村民のよろこびも大きく、知事の祝辞も感銘深いものでした。



15年前この路線の開発構想を提案した石田村長は協力会長あいさつの中で、この経過を述べ県及び林野庁関係者と、地元協力者に深く感謝の意を表しました。

行政区単位 交通事故防止コンクール実施

7月1日～12月31日

村では、村民の皆さんに交通事故や違反を防止し、安全運転を励行していただくために、毎年行政区単位交通事故防止コンクールを実施しています。今年も次の実施要項で行いますので皆さんのご協力をお願いします。

行政区単位交通事故防止コンクール実施要項

一、目　的　このコンクールは、交通事故防止運動の一環として、運転者の安全運転励行と歩行者の交通安全確保を図るため、交通事故防止に対する各区民の意識を盛り上げ、住民の自覚と実践によって交通事故の絶滅を期することを目的とする。

二、主　催　鮫川村・鮫川村交通対策協議会・交通安全協会鮫川分会

三、期　間　七月一日から一二月三一日まで（六か月間）

四、コンクール参加団体　各行政区（七区）

五、審査基準
(一)、順位は各行政区の人口に対する事故または違反行為の件数の割合をもって決める。
(二)、事故または違反行為件数は、棚倉及び石川警察署管内で発生したものとする。
(三)、各事業所における公務上または営業上の事故及び違反行為は、審査件数に含めないものとする。
(四)、各行政区の人口は七月一日現在とする。

六、表　彰　コンクール実施期間後、調査のうえ人口に対する事故、違反行為件数の割合の少ない順に三位まで表彰する。

夏の交通事故防止
県民総ぐるみ運動
7月21日 ～ 8月20日
安全は
マナーとゆとりとゆずり合い

鮫川幼稚園に寄附

このたび、鮫川幼稚園に老人クラブ中野長生会からぞうきん五〇枚、鮫川運送より遊具として古タイヤ二八本の寄附がありました。寄附していただいた方々に心から感謝申し上げます。

固定資産評価審査委員会委員に 蛭田藤留さん再選

任期満了に伴い、村議会の同意を得て六月一七日付で村長から選任されました。

青少年を非行からまもる全国強調月間

7月1日～31日

子供たちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思うのは、すべての親の願いです。

ところが、こうした親の気持ちとは裏腹に、年々少年非行が増え続けています。

昭和五四年の、成人も含めた全刑法犯三六万八千人のうち、その約四割に相当する一四万三千人が、一四歳以上二〇歳未満の少年という憂うべき状態となっています。

これは、少年千人に対し一四・五人が補導された勘定になり、戦後最高の記録です。

一方、数の面ばかりでなく内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、低年齢化に一層拍車がかかるとともに、年少少年による殺人事件の多発、暴走族少年による凶悪・粗暴事犯の増加のほか、中学・高校生による校内暴力事犯が激増するなど、新たな問題をはらんでいます。

夏休みは、子供たちの生活のリズムが乱れ、気持ちもゆるみがちで、親の目も届きにくくなります。楽しい夏休みが、一転〝非行の季節〟にならないように気をつけたいものです。

（日本広報協会）



愛の血液 助け合い運動

7月1日～31日

現代科学の粋をもってしても、血液を造ることはできません。

この事実こそ「血液」――愛の血液助け合い運動の精神です。

七月は「愛の血液助け合い運動」の月です。

輸血用の血液が必要なのは、とくに七月に限ったことではありませんが、例年、夏場は一年のうちで最も血液が不足しがちです。

これは七月、八月が山や海へ出かけたり、旅行したりする人が多いために、献血率はふだんの月に比べて大幅にダウンするからです。

また、夏の暑さも、疲れ・だるさなどの原因となって献血意欲を鈍らせていることも事実です。

しかし、輸血を必要とする患者さんに〝夏休み〟はありません。

献血で心と心の通い合い――あなたの血液が、病人の心に生命の灯をともします。

献血にご協力をお願いします。

（日本広報協会）

自衛官募集
詳しくは村役場又は白河募集事務所へ





恒例の納税組長会議は6月17日渡瀬小学校体育館を会場にして開催されました。今年度の村の予算や村税の賦課方法その他について説明や質疑があり、今年も24年目の全村完納を達成しましょうということで会議を終りました。続いてバス5台に分乗し、渡瀬村救荒修祭記碑、江竜田部落の集団農地開発事業、鹿角平乾草供給センター牧場、青生野協業養蚕組合集団桑園、青生野協業和牛組合の共同放牧場などを石田村長の案内で視察し、収穫多い一日の日程を終りました。

休日の在宅当番医

（7月～8月）

月日（曜）	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
7月6日（日）	棚倉町診療所		慈泉堂
13日（日）	和田	石川	
20日（日）	阿部		木村
27日（日）	藤田	中島	
8月3日（日）	勝田	車田	
10日（日）	菅原	根本	
17日（日）	薄葉	厚生病院	
24日（日）	大木		慈泉堂
31日（日）	藤巻	石川	

注　8月14日～16日（旧盆）は休日診療を行いません。

村内の交通事故（6月30日現在）　発生5件　死亡0人　負傷者7人

農薬危害防止運動実施中です

6月15日～7月15日

六月一五日から七月一五日までの一か月間農薬による事故防止のため、農薬危害防止運動を実施中です。

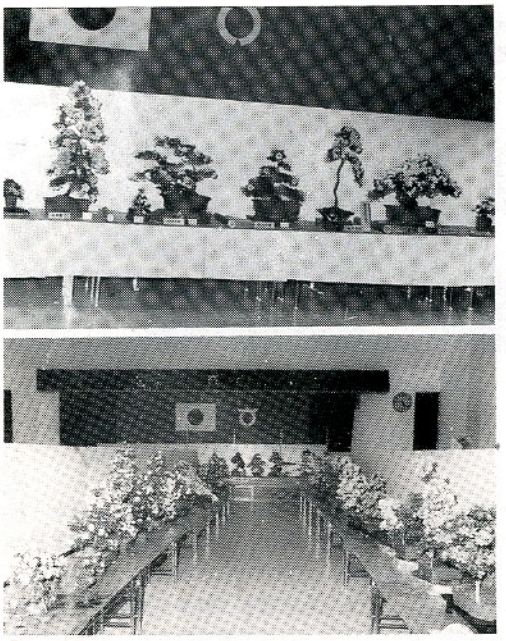
この運動を通じて農薬についての知識を高め、安全な使用方法を修得されて、一件の事故も出さないよう努めましょう。

一、農薬を使用する際は必ず使用方法の説明書を読むこと。

二、農薬は子供の手の届く場所や、他の品物のそばに置かないこと。

三、水道の水源や井戸、池等の近くでは農薬の使用はさけること。

四、万一、人体に及ぶ事故が発生したときは、すぐ医師の診察を受け手当てをすること。



今年のサツキは花着きも多くて美しく、参観者を魅了しました。

上は館山皐月会員の作品で、下は盆栽愛好会員の作品展示です。

天気予報 7月～9月

～ 今年の夏 ～

暑さは短かく 気温はやや低め

七月は梅雨前線の活動が活発で大雨の降るおそれがあるでしょう。梅雨明けは、平年並みかやや遅い見込みです。

盛夏期は暑い日もありますが、暑さは長続きしないでしょう。この期間に東北地方に影響する台風は二、三個ある見込みです。

『七　月』

オホーツク海高気圧が現われ、梅雨前線が活発化し、局地的に大雨の降るおそれがあります。

また、肌寒い日があり、日照不足の地域もある見込みです。

梅雨明け後は暑さが厳しいでしょう。月平均の気温は中通り、浜通りは平年並みかやや低め、会津は平年並み、降水量は平年並みの見込みですが局地的に多くなる所があるでしょう。

『八　月』

太平洋高気圧におおわれ暑い日がありますが、暑さは長続きしないでしょう。

月半ばから不安定な天気となりやすく、雷雨や局地的な大雨などの降る日がある見込みです。

月平均の気温は平年並みかやや低め。

降水量は平年並みかやや多めの見込みです。

『九　月』

はじめは暑い日もありますが、次第に大陸の高気圧の影響を受けるようになり秋めいて来るでしょう。

しかし、月の後半には秋空模様の天気が現れる見込みです。

月平均の気温は平年並み。

降水量は中通り、浜通りは平年並みかやや多め、会津は平年並みの見込みです。

平年の梅雨明け　七月二〇日

（福島地方気象台）

夏

台所の衛生に十分注意を



七月、八月の暑い盛りは、食品のいたみが早く、食中毒が多く発生します。食品の管理と台所の衛生には十分気をつけましょう。

食中毒の予防は、まず食品を細菌汚染から守ることですが、そのためには、次の三原則を忘れないようにしましょう。

一、清　潔

ふきん、まな板、包丁、食品類などの衛生には、とくに気をつけましょう。

二、迅　速

食品は早く調理し、早く食べるようにしましょう。

三、加熱と冷却

消毒する時は、煮沸するか、日光に干すようにしましょう。

また「冷却」は細菌の増殖を抑えるのに効果がありますが、冷蔵庫を過信するのは禁物です。

夏の間は、冷蔵庫の利用が増え食品を詰めすぎて冷気の循環を悪くしたり、ひんぱんな扉の開閉によって庫内の温度が上がりがちです。

週に一回くらいは、残品を整理するなど〝庫内一掃〟を行いましょう。

（日本広報協会）

市町村別交通事故防止コンクール成績（5月31日現在）　Cグループ中37位

人事異動

七月一日付で次のとおり人事の異動がありました。

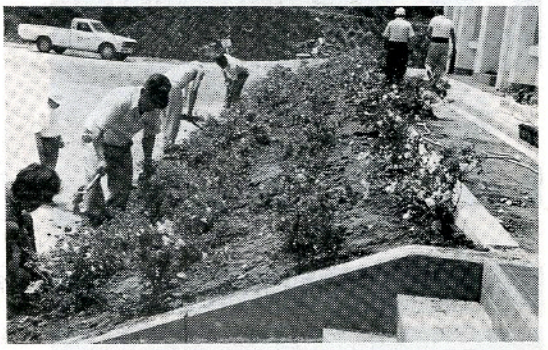
◉異　動

公民館兼山村開発センター（建設課計画係）国井嘉康、建設課計画係（監査委員書記兼総務課管理係兼総務係）鈴木真理子、住民課専門保健婦（専門保健婦兼保健係長）金沢寿枝、住民課福祉係長兼保健係長（福祉係長）藤田洋美、社会教育課社会教育主事兼社会教育係長（社会教育主事）芳賀正訓、総務課総務係兼監査委員書記（総務係）本郷まさ子



東白川地方4町村消防団の幹部大会は6月4日棚倉町公民館で開かれ、わが村の幹部団員も多数表彰の光栄に浴しました。

終って亀が城跡広場で日本消防協会長表彰の精績章、勤続章、知事表彰の永年勤続章等を石田村長から伝達してその功をたたえました。

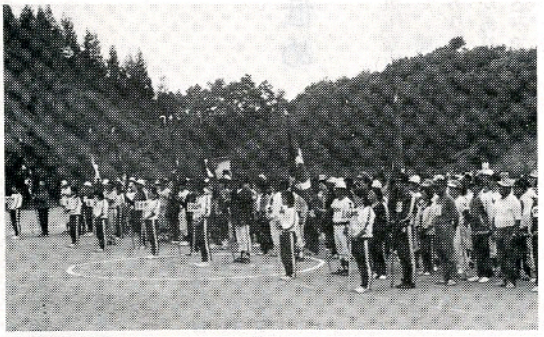


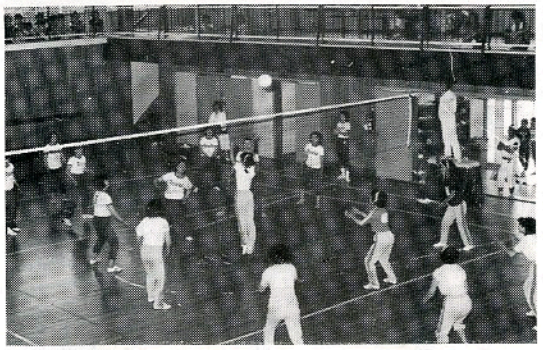
— 館山皐月会 —

鮫小環境整備に協力

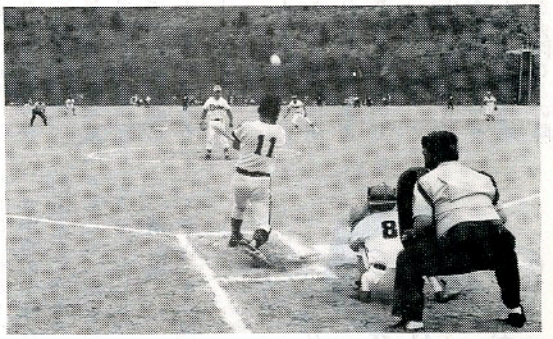
鮫川小学校舎の改築は一期工事が完成し、4月から新校舎で授業が行われています。このほど鮫小百周年記念事業財産管理委員会（代表早川光久さん）から校舎周辺の環境整備にと、サツキの若木300本が寄附され、去る6月17日に館山皐月会（会長須藤泰助さん）の会員12名の皆さんの奉仕作業で、校舎前の花だんに植付が完了しました。

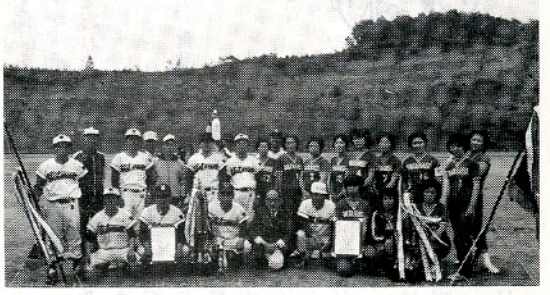
来春には、白い校舎に緑が映え「日光」、「晃山」、「貴公子」などのサツキが爛漫と咲きほこるのを児童たちは心まちしております。





今年の健康づくり夏季大会は6月8日に村民運動場で開かれました。新しく樹立された地区体育協会旗を先頭にして堂々たる入場行進に初まり、終日熱戦がくりひろげられ、生気あふれる喚声が山峡にこだましました。





成績は次の通りでした。

壮年ソフトボール　優勝渡瀬A　準優勝父ちゃん　3位富田B

家庭バレーボール　優勝渡瀬A　準優勝西山　3位富田